東鍼会報

2012. 07 NO. 253 TŌSHIN KAIHŌ

発行
社団法人
東京都鍼灸師会
☎ 3985-7501
FAX.3985-7526
www.harikyu-tokyo.or.jp

事　業　日　程　表

7月

11	水	筋力アップ教室⑧　理事会
14	土	保険予備審査　　〔N青年部長会議〕
15	日	保険審査会　〔N組織・共済部長会議〕
21	土	保険取扱者講習会（前期）
22	日	日鍼会学術講習会・東鍼会共催
25	水	筋力アップ教室⑨ 城西ブロック支部長会議
26	木	症例検討会

8月

1	水	筋力アップ教室⑩　新入会員説明会
2	木	鍼灸臨床セミナー
6	月	～10（金）　無料奉仕治療　墨田支部
8	水	（レセプト締切） 筋力アップ教室⑪　理事会
18	土	保険予備審査
19	日	保険審査会〔Nブロック大会・群馬〕
22	水	筋力アップ教室⑫

9月

5	水	新入会員説明会
6	木	（レセプト締切）　鍼灸臨床セミナー
12	水	理事会
15	土	保険予備審査〔N臨床研修会〕
16	日	保険審査会
26	水	筋力アップ教室（体験会） 前期支部長会〔予定〕
27	木	症例検討会
30	日	都委託学術研修会〔前期〕

支部活動の掲載について－－「支部活動の日時」本部が把握している範囲で掲載しています。早めのご連絡をお願いいたします。
事業日程表への掲載は、事務局までご連絡ください。（開始時間についてはご確認ください。）

役員（理事）の選任について

１．補欠選挙告示

選 挙 期 日	立候補届出期間
平成24年5月27日（日） 通常（決算）総会時	平成24年4月13日～5月14日

２．立候補者（２名）

氏　名	支　部
関　口　知　次	荒　川　支　部
松　浦　正　人	江 戸 川 支 部

◇５月27日の総会において、下記の２名の役員選任が承認されました。

関口 知次 氏

松浦 正人 氏

新入会員のご紹介

組 織 部（平成24年６月４日現在）

【新入会員の紹介】

氏　名	住　　所	電話番号	ランク	支 部
馬場　洋介	〒145-0071　大田区田園調布1-35-3-102 楽鍼灸マッサージ	03-5483-2756	A	大　田
大村　　浩	〒169-0075　新宿区高田馬場2-14-5 日染ビル１F 日本医学柔整鍼灸専門学校附属 敬心鍼灸院	03-5291-1097	A	新　宿
平野　和雄	〒145-0015　品川区西大井3-2-6	03-3772-4118	A	品　川
犬竹　俊登	〒134-0086　江戸川区臨海町5-3-1-714	070-5553-4039	A	江戸川
落合　　徹	〒114-0015　北区中里2-16-7-201	03-6321-9505	A	北

馬場 洋介（大田）

大村　浩（新宿）

平野 和雄（品川）

犬竹 俊登（江戸川）

落合　徹（北）

【住所その他の変更】

氏　名	変　更　内　容	電話番号	支 部
坂田　　晃	（施術所所在地） 北区滝野川7-22-6　IMAビル２F		豊　島
福島　　功	（施術所所在地）豊島区長崎2-11-8	03-6905-9989	豊　島
蛭田　　茂	（施術所所在地・支部） 千代田区富士見2-6-10三共富士見ビル603 鍼灸・あマ指 ほぐそ～や		中　央 →千代田
木村　文子		03-6671-3302	大　田
花田　太郎	（施術所名称）　鍼灸いちご治療院		江戸川
比佐　　毅	（施術所所在地） 江東区豊洲3-2-3 豊洲キュービックガーデン	03-4330-5524	墨　田
阪田　企成	（施術所所在地）新宿区北新宿1-14-5		新　宿
鈴木　彰治	（施術所所在地）千代田区五番町5-6-306		千代田
島　　英治	（施術所名称）　島接骨院		台　東

【退会者のお知らせ】

氏　名	ランク	支 部
阿　部　尚　之	A	江戸川
岡　安　　潔	A	品　川
金　子　重　行	A	世田谷
神　岡　孝　弘	A	杉　並
小　島　勇　己	A	台　東

氏　名	ランク	支 部
武　田　玲　子	A	練　　馬
亀　井　雪　子	A	江 戸 川
村　上　新一郎	B	三多摩北
佐　藤　千枝子	B	文　　京

「青木正雄先生を偲ぶ会」

日　時：平成24年５月27日（日）午後６時より

会　場：ホテルベルクラシック東京

出席者：議員・関係者・会員等　64名

ご遺族３名

弔 電　次の方々より弔電を頂戴いたしました。

☆　衆議院議員 自由民主党幹事長　石原　伸晃　氏

☆　前都議会議員　秋田　一郎　氏

☆（社）東京都医師会　会長　野中　博　氏

☆（公社）日本鍼灸師会　会長　仲野　弥和　氏

☆（社）大阪府鍼灸師会　会長　浜田　暁　氏

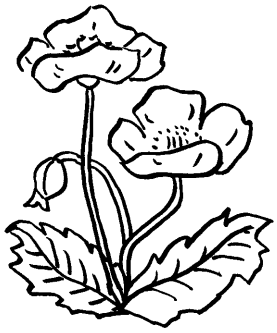
☆（社）栃木県鍼灸師会　会長　福嶋日出行　氏

☆（社）和歌山県鍼灸師会　会長　萩野　利赴　氏

☆（社）岐阜県鍼灸師会　会長　小椋　賢二　氏

参加者名簿　敬称略

No.	団体名等	役職	氏名
1	参議院議員		中川　雅治
2	都議会議員	顧　問	神林　茂
3	全日本鍼灸学会	事務局	福村　昭
4	鍼灸学会TOKYO	会　長	山田　勝弘
5	東京医療福祉専門学校	学校長	芳野　光子
6	東京医療専門学校	副校長	斉藤　秀樹
7	日本鍼灸師会（埼玉県鍼灸師会）	常任理事	大口　俊徳
8	日本鍼灸師会（千葉県鍼灸師会）	常任理事	永島　茂雄
9	日本鍼灸師会（宮城県鍼灸師会）	理　事	稲井　一吉
10	日本鍼灸師会（静岡県鍼灸師会）	理　事	中村　聡
11	日本鍼灸師会(神奈川県鍼灸師会)	理　事	日野　博
12	茨城県鍼灸師会	会　長	山中　亮助
13	茨城県鍼灸師会	副会長	飯田　孝道
14	茨城県鍼灸師会	会　員	菅波　公平
15	群馬県鍼灸師会	会　長	池田　教克
16	千葉県鍼灸師会	会　長	柴田　泰三
17	神奈川県鍼灸師会	会　長	伊藤　昌芳
18	三澤会計事務所	顧問会計士	三澤　卓也
19	東京都鍼灸師会（武蔵野・三鷹）	相談役	相馬　悦孝
20	〃　（大田）	参　与	山下　健
21	〃　（北）	会　長	髙田　常雄
22	〃　（中野）	副会長	伊集院　克
23	〃　（渋谷）	副会長	佐藤　直史



No.	団体名等	役職	氏名
24	東京都鍼灸師会（杉並）	常任理事	岩元　健朗
25	〃　（豊島）	常任理事	一ノ瀬　宏
26	〃　（品川）	常任理事	有馬　太郎
27	〃　（足立）	常任理事	天野　寛敏
28	〃　（墨田）	理事	森野　一巳
29	〃　（足立）	理事	樋口　陽一
30	〃　（荒川）	理事	呉　仁隆
31	〃　（杉並）	理事	青木　マリ
32	〃　（江戸川）	理事	鹿野　和彦
33	〃　（目黒）	理事	横山　季史
34	〃　（練馬）	理事	芝田　武司
35	〃　（三多摩北）	理事	邉田　幸藏
36	〃　（荒川）	理事	関口　知次
37	〃　（大田）	監事	浦山　久昌
38	〃　（中野）	監事	仲田　欣司
39	〃　（足立）	会員	尾澤　正義
40	〃　（江戸川）	支部長	荒井　修
41	〃　（江戸川）	会員	東　美代香
42	〃　（大田）	会員	菊地　貴彦
43	〃　（大田）	会員	村松　章子
44	〃　（大田）	会員	野村　紀久夫
45	〃　（品川）	会員	齋藤　誠次郎
46	〃　（品川）	会員	高橋　永寿
47	〃　（品川）	会員	楠田　清美
48	〃　（千代田）	会員	吉川　正守
49	〃　（港）	会員	三須　友子
50	〃　（港）	会員	宮内　律
51	〃　（港）	会員	西村　数代
52	〃　（港）	会員	天崎　正典
53	〃　（渋谷）	会員	小池　英義
54	〃　（新宿）	支部長	井坂　卓司
55	〃　（新宿）	会員	阪田　企成
56	〃　（新宿）	会員	申　英秀
57	〃　（北）	会員	片平　美根子
58	〃　（北）	会員	佐々木チエ子
59	〃　（北）	会員	挽野　順子
60	〃　（三多摩東）	支部長	増田　眞彦
61	〃　（武蔵野・三鷹）	支部長	黒河内　和明
62	〃　（武蔵野・三鷹）	会員	井上　繁子
63	〃	元会員	篠原　隆三
64	〃	元会員	會澤　重勝
御香料	日本鍼灸師会	会長	仲野　弥和
	日本鍼灸師会	副会長	小松　秀人
	杉山検校遺徳顕彰会	理事長	和久田　哲司
	東京都鍼灸師会（大田）	会員	鈴木　基子

国民の健康・福祉・医療増進の公益分野における永年の功績が認められ、このたび天皇陛下より故青木正雄先生に「旭日双光章」が授与されました。併せて「従六位」に叙せられました。謹んでお慶び申し上げます。

平成24年6月7日、都庁において叙勲伝達式が行われ、奥様が出席されました。ご報告いたします。

議　　事　　録

平成24年５月　臨時理事会議事録

平成24年５月27日（日）13：00～14：40
場所：日本鍼灸会館２Ｆ会議室
◇出席者　15名
（会　　長）髙田常雄
（副 会 長）伊集院克、佐藤直史
（常任理事）岩元健朗、一ノ瀬宏、有馬太郎、天野寛敏
（理　　事）森野一巳、樋口陽一、呉 仁隆、青木マリ、鹿野和彦、横山季史、芝田武司、邉田幸藏
◇同席者　３名
浦山久昌（監事）、仲田欣司（監事）、山中事務局長
◎議長挨拶（髙田会長）

【審議事項】

１．決算総会について
◇会長より次第等について説明。総会第４号議案の「役員の選任」では荒川支部の関口知次先生、江戸川支部の松浦正人先生の２名が立候補され、他にいなかったのでこの２名で決定し、総会の承認を取りたい。　……＜了承＞
２．青木正雄先生を偲ぶ会について
◇会長より次第・段取り等について説明。
……＜了承＞
３．その他
⑴日鍼会補欠選挙
◇伊集院副会長･髙田会長より東鍼会の対応を説明。
……＜了承＞
⑵二次医療圏災害医療連携会議
◇岩元総務部長より会議の報告。関連して会長より災害医療委員会の設置を提案。今後、この取組みを進めることで了承。
(3)会員支援対策
◇会長より入会後間もない会員や学生を対象に、支援対策委員会や経営講座の取り組みをしていくことを提案。

○**横山青年女性部会長**：今度「治療院見学会」を予定しているが、そこは８人雇用していてさらに治療院を増やす経営をやっている。そういう先生を紹介し、勉強していただくことにしているが、そうしたことを東鍼会全体でやるという方向は賛成だ。
○**芝田調査部会長**：後輩には、単に目先のことだけではなく、長く使えるような方法を教えてあげることが大事だと思う。その意味で、話し方とか接客術とか、自分でテーマを決めて参画してもらうのがよいのではないか。
○**髙田会長**：技術は追々身につくものだが、要は人間性を磨くという趣旨で提案したものだ。東鍼会には素晴らしい先生が多くいらっしゃるので、若い人との接触の機会をつくっていくことができたらと思っているのでよろしくお願いしたい。
‥‥＜了承＞
○**森野共済部長**：杉山検校顕彰会は会館建設のために治療所を開設しているが、見学者を受け入れて有料で治療の仕方を教えようと検討している。そうした取り組みも報告しておく。

【報告事項】

１．杉山検校を偲ぶ会
◇森野共済部長より実施報告。
２．地域災害医療連携会議
○**髙田会長**：今日の総会に新宿の井坂支部長、中野の増田支部長が見える予定なので、杉並の青木マリ副支部長を入れて三人と話を進めていきたい。
３．保険審査結果
◇髙田会長より報告。
４．支部長の変更
◇八王子・日野支部
５．就退任挨拶状
◇東京都薬剤師連盟
６．日本神経学会「学術大会」「シンポジウム」の開催
◇天野広報部長より説明。

以上

平成24年　決算総会 議事録

平成24年５月27日（日）15：00～15：50
場所：日本鍼灸会館２Ｆ会議室

◇議案：
　第一号議案　平成23年度事業報告
　第二号議案　平成23年度決算報告・監査報告
　第三号議案　定款の一部改正について
　第四号議案　役員の選任について
◇司会：岩元健朗（総務部長）
◇当日出席者：42名
（理事16名及び監事３名を含む）
◇出席理事：髙田会長、伊集院克、佐藤直史、
　　岩元健朗、一ノ瀬宏、有馬太郎、
　　天野寛敏、森野一巳、樋口陽一、
　　呉　仁隆、青木マリ、鹿野和彦、
　　横山季史、枝　亮、芝田武司、
　　邉田幸藏
◇出席監事：浦山久昌、仲田欣司、三澤卓也

◎開会の辞　　副会長　佐藤直史
◎会長挨拶　　会　長　髙田常雄
〔議長に小池英義氏（渋谷支部）、
副議長に増田照雄氏（中野支部）を選出。
議事録署名人には荒井修氏（江戸川支部）及び
田村憲彦氏（板橋支部）を指名。〕

【議事】

○小池英義議長：現在の会員総数が718名で、ただ今の出席者が39名（その後41名）、有効委任状提出者441名（確認452名）、合計480名（最終493名）である。本日は定款の改正があるので、三分の二の出席者及び委任者の定足数は479名ということで、かろうじて三分の二を超えていることを報告する。
それでは、第一号議案の「平成23年度事業報告」を髙田会長より一括で説明していただく。
◇髙田常雄会長より第一号議案について説明。
○**関口知次氏（荒川）**：３ページの鍼灸医療相談窓口の設置・運営のところに「鍼灸に関する苦情２件」とあるが、その内容は何か。
○**岩元健朗総務部長**：一件はセクハラ問題であり、もう一件は会員外のお灸の処置でやけどをしてしまったケースで今後どのようにしたらよいかとの相談であった。
○**村松章子氏（大田）**：14ページの機関誌発行事業の「関係諸団体への配布」のところに都内保健所とあるが、それは大田区にも配布しているのか。
○**天野寛敏広報部長**：会報の１月号と７月号を都内の全保健所へ配布している。
○**増田眞彦氏（三多摩東）**：前回の広報誌は一面がカラーだった。見やすくてよいと思うが財政厳しき折、会員向けは白黒でもいいのではないか。
○**天野広報部長**：会報については、公益法人に向けて今年度中に公益と報告・お知らせの２冊に分ける考えである。今回の会報はウインドブレーカーを東鍼会で作ったのでカラーで見せたいと思った。カラーと白黒の違いは一万数千円であるので、いい表情は見せていきたいと思っている。今後の会員向けは白黒で、カラーはホームページに載せていく予定である。
○**小池議長**：それでは事業報告についてご承認いただける方は拍手をお願いしたい。
＜拍手多数＞
○**小池議長**：第一号議案は承認された。
次に第二号議案「平成23年度決算報告」を一ノ瀬会計部長より説明する。
◇一ノ瀬宏会計部長より第二号議案について説明。
○**小池議長**：引き続き監査報告を浦山監事にお願いする。
○**浦山久昌監事**：去る４月25日、当会館の3階会議室において仲田監事並びに三澤監事ともども平成23年度の帳簿、通帳ほか関係書類を検査した結果、本決算書のとおり間違いないということを報告させていただく。
○**増田氏（三多摩東）**：租税公課費の支出が5,297円となっているが、この中身は何か。
○**小池議長**：調べるのに少し時間がかかるようなので、のちほど答えてもらうこととする。他になけ

れば、先に承認をいただくことにしたい。承認に賛成の方は拍手をお願いしたい。

＜拍手多数＞

○**小池議長**：第二号議案は承認されました。

次に第三号議案「定款の一部改正について」会長から説明をお願いしたい。

◇髙田常雄会長より第三号議案について説明。

○**小池議長**：ご質疑をお願いしたい。・・・・・・

質問・意見がないようなので第三号議案について賛同いただける方は拍手でお願いしたい。

＜拍手多数＞

第三号議案は承認された。さきほどの会計の質問に対する回答を会計部長からお願いしたい。

○**一ノ瀬会計部長**：ご質問の「租税公課費」だが、東鍼会が法人登記する際の印紙税関係に支出したということでご理解いただきたい。

○**小池議長**：次に第四号議案「役員の選任について」に移る。金子選挙管理委員長から説明をお願いしたい。

○**金子國明選挙管理委員長**：補欠選挙の状況について資料のとおりであるが、欠員２名に対し立候補者は２名であったので投票はなくなった。この２人を当選者としてご承認いただきたい。

＜拍手多数＞

○**小池議長**：拍手多数により承認された。

関口知次（荒川支部）、

松浦正人（江戸川支部）の紹介

○**増田氏（三多摩東）**：別件だが、さきほど支部が定款に盛り込まれたが、今後支部との連結決算の関係で行き違いが出てくることが危惧される。したがって、支部とのお金のやり取りに関してマニュアルあれば支部の運営もスムースにいくのではないかと思うので、是非理事会で考えていただきたい。

○**小池議長**：大事な提案なので理事会で検討をお願いしたい。以上で議事進行を終了する。

【その他】

○**髙田会長**：東京都から「区西部二次保健医療圏地域災害医療連携会議」の開催連絡があり、岩元総務部長に出席してもらった。この災害時の連携体制に東鍼会として参加していくため、理事会で「災害医療委員会」を立ち上げることを決定した。今後、東鍼会としてどんなことができるのかを新宿、中野、杉並の３区と協議していきたい。

◇天野広報部長より５月25日の日本神経学会の学術大会とシンポジウム開催結果について報告。

◎開会の辞　　副会長　伊集院　克

以上

保　　険　　部

H24年度前期「療養費等取扱者講習会」開催のお知らせ

平成24年７月21日（土）19：00～

池袋駅東口：東京セミナー学院

療養費等取扱者講習会を開催いたします。

万障お繰り合わせの上、受講していただくことをお願い申し上げます。

詳細はハガキにて連絡いたします。

保険部長　関口　知次

共　　済　　部

「日鍼会保障プラン」更新募集のご案内

「日鍼会保障プラン」は全国の鍼灸師の福利厚生制度として平成元年発足し、公益社団法人日本鍼灸師会の会員が加入しています。当制度は個人事業主である鍼灸師が簡単な手続・割安な掛金で加入することを目的として発足した制度です。

当会では福利厚生制度充実のため、今後積極的に「日鍼会保障プラン」の加入を推進していこうと考えております。７月から始まる更新募集期間に一人でも多くの会員にご加入をご案内させていただきますので、ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

「日鍼会保障プラン」のメリットは次のとおりです。

① 死亡保障は50万円～400万円です。

② 配偶者・お子様のご加入もできます。

③ 国組織のスケールメリットを生かし、保険料が割安です。

④ 医師の診査は不要です。

１年ごとに保障額の見直しが可能で、更新募集期間は７月～８月までです。

お問合せ

三井生命保険（専用電話）　0120-344-338

日本鍼灸師会　事務局　03-3985-6771

東京鍼灸師会　事務局　03-3985-7501

共済部長　森野　一巳

文　化　部

「納涼懇親会」についてのお詫びとお知らせ

今年度の納涼懇親会について５月号の行事日程にて７月29日に行う旨記載していましたが、今年は無謀にも「東京スカイツリー展望台」へ登ることを入れようと思い計画していましたが、年内は、ほぼ不可能となり、日程通りに行うことが困難になってしまいましたので、変更させていただくことをお詫び申し上げます。誠に申し訳御座いません。また、懇親会を年内に行う場合は「東京スカイツリー」の展望台へ登ることは無くなります。来年の春先に行う場合は登れる可能性はかなり高くなります。

どちらの場合もまだ日程が定まっていませんので、開催日の２カ月位前には通知できるように致しますので、ご容赦ください。

文化部会長　呉　仁隆

共益ページの補足

症例検討会からのご報告とお知らせ

５月の症例検が５月24日（木）午後７時30分から同会館に於いて行われました。座長は滝上　晴祥氏（大田支部）にご担当いただき、「鍼灸不適応疾患とした閉塞性動脈硬化症」と題し平田　朋子氏（山形県鍼灸師会）に、「パーキンソン病患者の慢性便秘症」と題し小池　英義氏（渋谷支部）に症例報告をしていただきました。

また臨床のコツは、折原　瑛哲氏(板橋支部)に「胃潰瘍」の治療実技を披露して頂きました。

一人目の報告者の平田氏は、日鍼会臨床研修会講師指導員の浦山　久昌氏（大田支部）のかつての教え子であり、この日の報告ために遠く山形からお越しいただきました。なお、本症例は昨年11月に大阪で行われました、第50回日本鍼灸臨床懇話会 全国集会でも報告され、大変注目された症例でもあります。

次回の症例検討会は７月26日(木）午後7時30分から、座長を三浦　洋氏（大田支部）にご担当いただき、症例を紺野　康代氏（世田谷支部）、伊集院　克氏（中野支部）にご報告頂きます。各演題と、臨床のコツの演者は東京都鍼灸師会のホームページからご確認いただけます。学術部の行事日程もアップしておりますので、併せて宜しくお願いいたします。

症例報告は貴重な臨床体験です。体験から多くのことを学ぶことが出来ます。皆様のご参加をお待ちしております。

学術部長　有馬　太郎

鍼灸臨床セミナーからのご報告とお知らせ

平成24年度第４回鍼灸臨床セミナーを６月７日（木）午後７時30分から日本鍼灸会館２階講堂において開催しました。

今回は「膝痛」（全３回）の２回目となり、「検査法実技②・病態」を日本鍼灸師会臨床研講師の有馬太郎氏（品川支部）、天崎　正典氏（港支部）にご担当頂きました。参加者数は34名でした。

次回の臨床セミナーは７月５日(木)で、膝痛シリーズの最終回。「膝痛の治療の実際」です。

患者の症状を設定しロールプレイング形式で講師の先生が実際に臨床でどのような対応（来院から治療まで全て）をしているのか学ぶことができます。当セミナーは徒手検査法を正しく理解し鑑別能力を高めることを目的としております。高い鑑別能力は患者さまへの信頼につながります。経験の浅い方は正確な手技の獲得や臨床のヒント探しに、ベテランの方は臨床能力の再確認などにご利用頂ければと考えております。

参加費は500円で第１木曜日午後７時30分から９時。日本鍼灸会館２階講堂で行っております。どうぞお気軽にご参加ください。

１疾患につき３ヵ月を１クール全３回。

（腰痛・坐骨神経痛は全４回になります）

となります。開催疾患については当会のＨＰでスケジュールをご確認ください。

鍼灸臨床セミナー実行委員　草間　健二

青年・女性部会「治療院見学会」

平成24年６月３日（日）午前10：30から中央区人形町にある「セラピーサーナ」において治療院見学会が行われました。会員16名、一般７名、学生23名の総勢46名、とこれまでにない大人数。熱気ムンムンでスタート致しました。

院長の永井奈津子先生は、元々、理学療法士として活躍されていた経歴もあり、その経験を併せて運動と鍼灸による相乗効果で大きな成果を出していらっしゃるとのことです。美容鍼の技術、経営のノウハウなど、包み隠さず、問われるまま、全てをさらして下さり、熱心にノートを取られる方多数。具体的には、まず、治療院内部をいろいろ見せて頂いた後｛共益性冊子に記載｝併せて、経営のノウハウとして、治療院の宣伝や雇用関係など、答えにくいような質問にも、包み隠さず、具体的にお答え頂きました。

鍼灸は古いけど、新しい、何かあらたな風を感じたのは、私だけではなかったと思います。青年・女性部と致しましては、今後もいろいろなテーマに取り組んで参りたいと思っております。

年齢に関係なく（青年でなくても(笑)）、入会して間もない方々には、いろんな先生方と出会う楽しいきっかけとなって頂けたら幸いです。

次回も乞うご期待。

女性部会　福嶋美奈子

青年・女性部会の名称と定義について

先日の青年女性部総会で会員の先生から『青年女性部という名称だと、若い女性の部と勘違いしてしまう』というご指摘を受けました。
そこで、今後は『青年・女性部会』と改めさせて頂きます。

もう一度お伝えしますが、青年・女性部会とはすべての女性会員＋40歳以下の男性会員＋学生会員で構成されますので、ご周知のほどよろしくお願いいたします。

青年・女性部会長　横山　季史

高齢者向け筋力アップ教室開催中

現在、教室は５名の介護予防運動指導員でもある鍼灸師が担当しています。

・辻潤　一郎（中野支部）
・竹内　　潔（豊島支部）
・中　　秀行（世田谷支部）
・檜山美代子（三多摩北支部）
・松浦　正人（江戸川支部）
・堀部　　健（元東鍼会会員：
　　現秋田県鍼灸師会会員）

鍼灸治療の対象者は高齢者が少なくありません。高齢者向けの自立に有効な筋力運動の方法や、確認された健康講話・健康情報の習得ができます。することにより高齢の方々に的確なアドバイスが可能となります。それらは日常の臨床にも生かすことが可能な情報でもあります。

東京都鍼灸師会が運営している介護予防教室は介護予防運動指導員が担当していますが、見学・研修は誰でも受け付けています。見学・習得などを希望される方は東京都鍼灸師会事務局に連絡ください。運動指導（介護予防＝アンチエイジングに対応）ができる鍼灸師を目指しませんか？（継続的に参加される方には交通費・活動費の支給あります）

介護予防委員会委員長　松浦　正人

支部だより

今年度より主催団体が公益法人化（新宿区未来創造財団）で区師会会場に職員が３名常駐してサポートして頂く。重いパーテーションからプロジェクターの設営、その他至れり尽くせり！公益化に感謝…。

参加者―計23名
（会員10名・一般鍼灸師６名・学生７名）
協賛企業：セイリン、ファロス

―新宿支部これからの活動―

どうぞ皆様のご予定に入れてください。詳細は近日中にHPを更新予定。

・新宿支部衛生顧問－古屋英治先生（呉竹東医研所長）の「誰も知らない鍼灸師の正しい手の洗い方とは？」仮題、諸事情で延期、決定次第告知。

・H24年度「鑑別法」年４回開催予定。部位は今年度－頸肩上肢。６月９月１月３月
－場所日程等決定次第告知。
・H24年度解剖学３回日程－
（河野　俊彦先生）
①解剖学座学（夏解）７月18日（水）
午後７時より大塚鍼灸会館
②解剖学座学（秋解）10月24日（水）
午後７時より大塚鍼灸会館
③解剖実習見学　11月30日（金）
午後２時より千葉大医学部解剖教室
・普及活動－新宿区民祭り
「ふれあいフェスタ2012」10月21日（日）
都立戸山公園特設テント施術所－全日
・普及活動－新宿シティーハーフマラソン
H25年１月27日（日）
@国立競技場特設施術所－全日
・「ツ」ボランティア研修会
（マラソン鍼灸のための事前研修会）２回開催予定

新宿支部＆新宿区鍼灸師会　ホームページ
http://shinjuku-hari.com/index.html
（新宿区鍼灸師会で検索してください）

お問合せ―メール
hari-info@shinjuku-hari.com
電話　03-3367-8566
新宿支部長　井坂　卓司

三多摩北支部学術講習会

国分寺労政会館にて

４月28日（土）午後７時より中央医療学園専門学校講師：塩入照久先生をお招きして「血管系について」のテーマで講演をしていただきました。

心臓、血管の知識を確認したうえで、起こりやすい異常、特に狭心症について、原因・症状・検査・対応等について学習しました。質疑応答では、参加者の体験等も交え、活発な意見交換が行われました。日常の臨床の上で大変有意義な会でした。

三多摩北支部長　邉田　幸藏

品川支部

品川支部では役員・会員15人で参加。

本日、月曜日。昨日の受診者8名より、受診依頼。そーは簡単に予約入らないのに参ったね。こりゃみんなの所も大変だーと、心配になりました。なにより！

品川支部長　細木 信孝

日本神経学会「第53回学術大会」

１．学術大会：大会長
　慶應病院神経内科　鈴木則宏 教授
２．次期大会長
　東京医科歯科大学　神経内科 水澤　教授

座長：片山泰朗・日本医大神経内科主任教授
　　：荒木信夫・埼玉医大神経内科主任教授
シンポジスト：山口　智　粕谷大智
　　伊藤和憲　鳥海春樹
　　間中信也（敬称略）
シンポジウム参加者　　663名

■鍼灸師参加者　　260名
（事前登録：155名　当日登録：105名）
■鍼灸学生参加者　　275名
■神経内科医師　　118名

参加費を払った鍼灸師だけではなく、鍼灸学生にも「コングレスバック」がプレゼントされました。

「公開鍼灸シンポジウム」

平成24年５月23日（水）24日（木）
18:30～21:00　慶應大学三田キャンパスホール「公開鍼灸シンポジウム」が開催されました。

演題に興味を持たれた出版関係者・情報発信者や区・市議会議員も３名を確認。業者の展示協力もあり、運営側や協力するスタッフの意気込みが伝わってきました。

１．日鍼会　　仲野　弥和 会長
２．日臨研　　藤井　伸康 理事長
３．全日学　　後藤　修二 会長
４．衆議院議員　　藤原　一秀 氏
５．埼玉医大　　山口　　智 氏
６．座長　　荒井　　修 氏
７．名誉教授　　川並　汪一 医師
８．PCAT　　林　健太郎 医師
９．東医研　　皆川　宗徳 氏
10．慶大講師　　植松　大輔 医師

日本神経学会シンポジウムに参加して

第53回日本神経学会学術大会に学生として参加させていただきました。今回の医学会は神経内科領域疾患に対しての鍼灸の効果・効能を「有効な診療ツール」として広くアピールできる機会であるとのこと。我々のような鍼灸学生にも門戸が広く開かれておりました。

私自身は23日・24日と慶応大学三田キャンパスで開催された公開鍼灸シンポジウムのお手伝いをしたのですが「脳卒中・認知症予防」鍼灸ネットワーク：天野先生の発表を皮切りに、最終日まで鍼灸界の熱い想いが込められた研究発表が展開されておりました。私も身近にいる頭痛持ちの友人や認知症の家族のことや、将来の治療現場を思い浮かべながら拝聴しておりました。鍼灸の効果は、運動器系疾患だけではなく神経内科領域の疾患にアプローチできることを多くの人々に知ってもらうことによって、活躍の場と医療的な社会貢献のチャンスが広がっていくのでは。と強く感じました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

日本医学柔整鍼灸専門学校２年　峯 大輔

５/25（金）17：00すべてのプログラム終了後。希望者約20人で「日比谷公園ビール祭り」に便乗。すでに、大きいドイツジョッキを片手に歌・踊りの輪ができていた。

すっかり暗くなり、ステージや模擬店のイルミネーションが「幻想的な噴水広場」と化した。ぞくぞくと仕事帰りの皆さんが集まった。

広報部

御礼のご挨拶

この度は、第53回日本神経学会で開催されたシンポジウム「神経内科診療における鍼灸活用の可能性を探る」および、それと連携して企画いたしました公開シンポジウム「鍼灸医療の将来像を語る」につき、髙田会長はじめ東京都鍼灸師会の先生方には、物心両面に亘る厚い御支援を頂きまして、誠に有難うございました。

神経内科医が「重要な診療ツール」として鍼灸を捉えるよい契機になったことと存じます。今回の神経学会を主催いたしました慶應義塾大学医学部神経内科の医局員として、また、藤井理事長のもと、公開シンポジウムを主催させて頂いたNPO法人「 日臨研のシンポジウム責任者 」として、心より御礼申し上げます。

この度は、本当に有難うございました。

練馬支部　鳥海 春樹　拝

第23回鍼灸祭の報告

演題２は（実技供覧）『工藤流刺絡の実際』を鍼灸祭世話人の大貫進先生が行い、実技についての質問が多く出され特別講演会は時間が足りないという印象でした。

協賛団体として東京都鍼灸師会からも髙田会長をはじめ、呉理事・文化部長、横山理事・青年・女性部会長、邉田理事・三多摩ブロック長も参加されました。（昨年は東日本大震災のため、湯島聖堂も一部損壊を被り中止されました。）

（報告）鍼灸祭世話人　一ノ瀬 宏

厚　生　部

お　祝　い

H23年11月１日　荻野三恵子 氏（新宿）
ご結婚　　旧姓：堀口

H24年３月25日　村山　　巌 氏（大田）
三男誕生

H24年４月23日　岡田　野麦 氏（大田）
ご結婚　　旧姓：吉村

今月号に「公益性冊子見本」を添付しました。

①一般のみなさま（患者さん）向けの「公益性冊子」
　―― 公益活動として待合室に置ける記事
②会員の先生方へのお知らせ「共益性冊子」
　―― 議事録・種々の活動状況・会員の異動など
　　２冊一組でお届けしています。

初めての試みです。ご意見・ご要望を正副会長・理事・広報部長・編集委員までお寄せください。

今月号からデザイナーを登用し印刷会社も変更しました。表紙の４色刷り（カラー）は交渉が実を結び、１色刷り価格であることをお知らせいたします。（６/13理事会にて報告）

これからは今までよりも編集作業に時間が費やされます。その手順は「寄稿・編集・校正・印刷・綴じ・封入・ラベル貼り・発送」スケジュールを設定して、奇数月の10日発刊をめざしています。
会報の「ページ数」は４ページ単位で増えます。どうか、締め切りに間に合わせてくださることを重ねてお願い申し上げます。重要記事の送稿が遅れる場合は広報部長までご一報ください。

日程が間に合えばできるだけ掲載する方針です。記事は分かりやすく簡潔にお願い致します。　（寛）

会　長　日　誌

４月５日　鍼灸臨床セミナー
　11日　理事会
　12日　顧問：神林茂都議の報告会
　　（佐藤副会長 同席）
　15日　中村万喜男先生法要・追悼
　18日　豊島区第１回「筋力アップ教室」
　　三澤会計士と打合せ
　　（一ノ瀬会計部長）
　25日　東鍼会会計監査
　26日　ホームページ委員会
５月２日　「青木正雄先生偲ぶ会」打合せ
　　（相馬相談役・青木厚生部会長）
　12日　杉並支部 訪問
　17日　理事会
　20日　鍼灸祭：湯島聖堂
　22～25日　日本神経学会学術大会
　23日　公開シンポ「鍼灸医療の将来像」
　24日　「地域社会における鍼灸医療活用」
　25日　「神経内科診療における鍼灸活用の可能性を探る」
　27日　理事会・決算総会・政治連盟総会
　　「青木正雄先生を偲ぶ会」
　31日　東京都医師会会長
　　野中博先生訪問（岩元総務部長 ）

発行者　社団法人　東京都鍼灸師会　　会長　髙 田 常 雄
〒170-0005　東京都豊島区南大塚 3-44-14　　日本鍼灸会館内
電　話　３９８５－７５０１　ＦＡＸ　３９８５－７５２６
メールアドレス　　info@harikyu-tokyo.or.jp
《広報部長》
天野寛敏
ＴＥＬ・ＦＡＸ　3881-8251
《編集委員》
鳥海春樹（練馬）　豊田和宏（足立）　二階堂貴子（新宿）
９月号の原稿締切：７/末日　　発行予定：９/10

「会員名簿 2011」の訂正

組織部長　佐藤直史

5 月に配付しました「東鍼会会員名簿 2011」に誤記がありましたので、お手数ですが訂正をお願いいたします。

（平成 24 年 3 月時点）

頁	訂正箇所	（誤）	（正）
6 ページ	「支部役員名簿」 足立支部役員	副支部長の記載漏れ	（副支部長の追加） 小松賢太郎
31 ページ	「港支部」 西田としえ先生	（E-mail） nisida2351@ybb.ne.jp	（E-mail） nishida2351@ybb.ne.jp
37 ページ	「渋谷支部」 廣瀬昌代先生	（電話番号） 03-5701-5736 （E-mail） pecohan @ bi.mbn.or.jp	（電話番号） 03-3445-9263 （E-mail） pecochan @ bi.mbn.or.jp
40 ページ	「新宿支部」 滝沢照明先生	（E-mail） ttakizawa < hariint @ sinjyuku.name >	（E-mail） hariint @ sinjyuku.name
40 ページ	「新宿支部」 二階堂貴子先生	（施術所名） 二階堂鍼灸院	（施術所名） 二階堂治療院
48 ページ	「板橋支部」 金子國明先生	（FAX 番号） 03-5922-5539	（FAX 番号） 03-5922-5589
49 ページ	「板橋支部」 本多治壽先生	（電話番号） 03-3964-1789	（電話番号） 03-3964-1771
54 ページ	「練馬支部」 押切房子先生	（FAX 番号は別）	（FAX 番号） 03-3925-0361
65 ページ	「八王子・日野支部」 吉田史子先生	（住所） 八王子市横山町 1-4-9	（住所） 八王子市元横山町 1-4-9
67 ページ	「武蔵野・三鷹支部」 草野秀夫先生	（電話・FAX 番号） 0422-58-3600	（電話・FAX 番号） 0422-52-3600